



生協ひろしま

CSR Report 2017

2016年度の事業・社会・環境に
ついての報告

《生協とは》

生協は暮らしを豊かにしたいという組合員の願いを実現するためにみんなが話しあい、力を合わせて商品を開発し、商品・サービスを通じた暮らしの見直しに取り組む消費者団体の協同組織です。一人ひとりには弱い立場の私たちもみんなで力を合わせれば大きな力を生み出すことができます。みんなの協力で造られている生協は、組合員自身が出資し商品を利用し、自分（組合員）たちの手ですすめていく組織です。

《基本理念》

私たちは、協同の力で、より豊かなくらしの創造と平和な社会づくりに貢献します。

編集方針

生協ひろしまは2006年に「企業の社会的責任」を意味するCSR経営を進めることを宣言しました。事業と組合員活動から成り立つ生協ひろしまのCSRに関する取組みをステークホルダーの皆さまに報告いたします。この報告書は生協ひろしまの基本理念に則して推進している事業や活動、その進捗状況を報告することを基本とします。

「CSR Report」の発行にあたって

生協ひろしま 専務理事 横山 弘成

誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して



2016年度はオバマ大統領が広島を訪問され、被爆者とも懇談するなど、核兵器廃絶への期待が膨らむ出来事がありました。しかし、一方では日本政府が国連の核兵器禁止条約の交渉会議に不参加の表明をするなど被爆者の願いを踏みにじる出来事もありました。今年に入ってから北朝鮮のミサイル発射実験、各国で発生している無差別テロ事件など、「平和な社会の実現」という私たちの願いに反する動きがますます顕著になっています。そんな中、組合員と共に市民平和行進やつどいなどを通じて平和への想いを共有するとともに、被爆者との連携を今まで以上に強めることで平和な地域社会づくりへの貢献を続けることが求められています。

また、東日本大震災被災地への支援活動として継続している「広島お好み焼き隊」の派遣は地元の方に喜んでいただいています。昨年発生した熊本地震では組合員へ緊急募金を呼びかけ、3千万円を超える募金を被災地にお届けしました。そして今年の春は、熊本にも「お好み焼き隊」を派遣しました。

2017年度も引き続き、組合員の日々の暮らしに寄り添いながら組合員や地域社会から求められる商品やサービスをタイムリーに提供し続け、地域になくってはならないと感じていただける生協ひろしまを目指してまいります。

本レポートは、1年間の諸活動をまとめて紹介しています。多くの方にご高覧いただき、率直なご意見やご助言をいただければ幸いです。

2017年6月

発行 行：2017年7月
者：生活協同組合ひろしま
〒739-0495
広島県廿日市市大野原1-2-10

問い合わせ先：総合企画室
TEL 0829-50-0409
FAX 0829-50-0352
URL <http://www.hiroshima.coop>
E-mail hcoop@mail.hiroshima.coop

ホーム
ページ



フェイス
ブック



本レポートは生協ひろしまホームページでも公開しています。—— http://www.hiroshima.coop/about/csr_report/index.html

食

「食の安全・安心」について正しく知り、より多くの組合員に広げていくため、情報発信や学習会を行いました。



商品の学びあい活動に取り組みました

組合員・職員がコープ商品や産直商品のこだわりや良さを学習。「商品の学びあい活動発表交流会」を7カ所で開催しました。

商品政策を改定しました

2012年に策定した「食の安全総合政策」について廃止し、コープCSネットの政策と統合。商品政策と、商品の安全・品質保証の取り組みについて改定を行いました。

リスクコミュニケーション

広報誌こーぷぱれっとで「食の安全ガイド」を隔月で特集し、食の安全・安心に関わる政策などについて組合員・職員で学習しました。

平和

被爆者の平均年齢は80歳を超え、被爆の実相を語るができる時間は限られてきています。次世代へ戦争の悲惨さや平和の大切さを伝える活動をさらに進めます。



ピースナイター2016を開催しました

8月6日、(株)広島東洋カープ、(株)中国新聞社、(株)中国放送、広島電鉄(株)と共催で開催しました。

平和募金に取り組みました

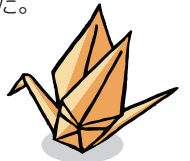
2,186,031円の平和募金が寄せられ、平和活動及び被爆者支援活動をしている10団体に各10万円、合計100万円を贈呈しました。

平和の折鶴昇華再生事業

広島平和記念公園に捧げられた折鶴を、カレンダー、名刺、封筒、ノートなどに再生し、全国の生協、取引先様に紹介しました。解体作業には290名の組合員さんが参加しました。

市民平和行進を行いました

県内4コース、626名が参加しました。



子育て支援



個配手数料減免期間を拡充しました

期間中、個配手数料が半額となる「ママ割個配」の対象者・対象期間を「妊娠中、もしくは未就学児のお子さまがいらっしゃる方」まで拡充し、35,246名が登録しました。

はじめてばこをお届けしました

広島県・テレビ新広島と連携し、生後6カ月以内の赤ちゃんがいるご家庭に合計12,040個のはじめてばこをお届けしました。

店舗で「ちびっこひろば」を展開しました

店舗の集会室で親子のオープンスペース「ちびっこひろば」を展開中です。2016年度は7店舗で88回開催し、延べ1,066名が参加しました。

「じいじ・ばあばの孫育て応援ブック」を発行しました

広島県と連携して発行、プラチナスクールなどを受講した方に配布しました。

福祉



グループホームを設立しました

2月、広島市西区に「コープグループホーム・観音」を開所。3月末現在15名の入所となっています。

県内の医療生協と共に、「医療・看護・介護」の連携したサービスの実現に向けて協議をすすめています。

ふれあい食事を開催しています

コープ安東の組合員集会室で月に1回、地域の一人ぼっちをなくそうと、一人暮らしのお年寄りを対象に料理作りと交流を行っています。2016年度で20年目となりました。

誰でも参加できる居場所づくりに取り組んでいます

コープ五日市北、福山市、呉市などに開設されている5カ所の「寄ってこ〜家」では、延べ180回、1,171名の方が参加されました。

地域・社会貢献



移動店舗「ぶちこ〜ぷ」販売エリアを拡大しました

コープ五日市北、コープ高陽、コープ矢野東を母店に4車両が稼働中。販売エリアについては地域の声を聞きながら対応しています。

県内8市町との防災協定を締結しました

新たに府中町と災害時における支援協定を締結しました。

熊本地震、東日本大震災の被災地支援を行っています

熊本地震では緊急募金や、配送や福祉の人的支援を行いました。東日本大震災の被災地3生協（いわて生協、みやぎ生協、コープふくしま）から職員を招き、お話を聴くつどいを開催、今後の支援のあり方を考えました。

お買い上げ配送サービスを展開しています

店舗でお買い上げいただいた商品をご自宅まで配送するサービスを7店舗で展開。2016年度は延べ6,376件の利用がありました。

環境

地球にやさしい暮らしをすすめます。

リサイクル推移

資源有効活用の取組みとして、商品の配送時や店頭で飲用パックやたまごパック等の回収を行っています。

マイバック持参率は、88.9%

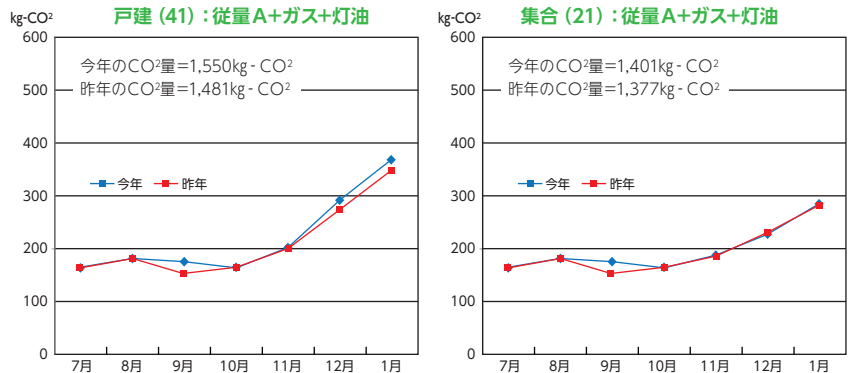
“広島県におけるマイバック等の持参とレジ袋削減推進に関する協定”を広島県等と2009年に締結し、2009年10月より全店でレジ袋の無料配布を中止しています。無料配布中止以降は、90%前後の持参率で推移しており、2016年度は88.9%となりました。



▲10月、庄原市で森の役割や環境について学ぶ「親子の自然教室 in アサヒの森」を開催、親子24名が参加しました。

項目	回収形態	回収実績量(t)					再生品
		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	
飲用パック	支所・店舗	99.7	94.8	99.7	77.3	74.9	コアップロール
たまごパック	支所・店舗	46.6	46.5	47.8	49.1	49.1	たまごパック
発泡トレイ	支所・店舗	20.9	20.4	20.8	21.3	18.9	トレイ
透明トレイ	店舗	3.9	4.9	5.2	5.0	5.2	トレイ
シッパー内袋	支所	39.8	58.4	54.5	47.6	43.5	再生フィルム、文房具
チラシ類	支所	4,319	4,386	4,681	4,684	4,737	チラシ
ペットボトル	店舗	46.3	26.7	24.5	28.3	20.7	プラスチック原料
合計		4,576.2	4,637.7	4,933.5	4,912.6	4,949.3	

省エネ対策トライアル 戸建住宅と集合住宅のエネルギー使用量の比較



「夏場だけでなく、冬場の対策についても学習したい」という意見を受けて、2016年度は7月～1月の7カ月間、省エネ対策トライアルの取り組みを行い、118名が参加しました。
 ・集合住宅は、戸建に比べて冬場のエネルギー使用が抑えられています
 ・一昨年まで行っていた暑さ対策トライアルでは、「我慢」による対策が成果を上げていましたが、長期にわたる取り組みでは「我慢」が続かないことが分かりました。暮らし、そのものを見直すことが必要だということが分かりました。

事業活動による環境負荷の軽減

事業活動によるエネルギー資源の投入 電気使用量を8.2%削減しました。

項目	使用量	単位	前年対比
電気	18,329	千kWh	90.8%
都市ガス	21,479	m ³	94.9%
LPガス	29,726	m ³	91.1%
水道	71,457	m ³	95.7%
灯油	820	ℓ	99.4%
車両(軽油)	668,465	ℓ	99.6%
車両(LPG)	25,255	ℓ	52.6%
車両(ガソリン)	208,841	ℓ	107.0%
注文書等商品案内	6,248	t	98.1%
シッパー内袋	160.0	t	101.9%
レジ袋	3.8	t	86.4%
トレイ	11.3	t	97.4%
ラップ(インスタアー)	8.7	t	91.6%
ドライアイス	1,597	t	103.1%

2013年5月に“生協ひろしま環境・エネルギー政策”を策定し、事業活動で排出されるCO²の削減について目標値を持って取り組んでいます。

環境

生協ひろしまでは環境保全を効果的に推進してゆくため、環境負荷や保全の費用と効果の把握を行っています。

環境保全コスト

(単位:千円)

主な取組み内容	14年度	15年度	16年度	前年対比
浄化槽の点検、グリストラップ清掃	3,687	3,635	3,446	94.8%
紙類等のリサイクル	672	625	269	43.0%
生ごみ、廃食油、魚残渣のリサイクル	5,280	5,453	5,183	95.0%
一般・産業廃棄物の処理・処分、ごみ袋	34,959	33,793	32,461	96.1%
害虫駆除	3,445	3,381	2,940	87.0%
再商品化委託料	3,437	2,263	2,887	127.6%
合計	51,480	49,150	47,186	96.0%

経済効果

(単位:千円)

効果内容	14年度	15年度	16年度	前年対比
紙類、発泡スチロール等のリサイクル	55,618	76,684	78,695	102.6%
レジ袋使用削減分	10,579	10,383	9,532	91.8%
再商品化委託料削減分	9,041	7,140	6,674	93.5%
合計	65,157	94,207	94,901	100.7%

組織概要

(2017年3月31日現在)

名称	生活協同組合ひろしま	出資金額	129億7,881万円
創立	1984年10月(昭和59年)	供給高	421億4,405万円
本部	広島市西区草津港2-8-42	福祉事業収入	12億6,258万円
役員	理事長 惠木 尚 専務理事 横山 弘成 常務理事 宗本 干城 常勤理事 重津 光彦 高浦 美穂 高橋 房大	その他事業収入	14億7,696万円
活動エリア	広島県全域(定款)	職員数	総合職員 593人 専任職員 291人 パートナー職員 636人 福祉専門職員 203人 ヘルパー登録者 453人
組合員数	399,926名		
県内加入率	32.7%		

数字で見る2016年度実現できたこと

※数字は2017年3月末現在

供給高 421.4億円

(計画比99.4% 前年比98.8%)

共同購入他 337.2億円

(計画比99.7% 前年比101.1%)

店舗 84.2億円

(計画比98.1% 前年比90.5%)

移動店舗(ぶちこーぷ)

廿日市市・佐伯区・西区・
安佐南区・安佐北区・東区・
安芸区・安芸郡・安芸高田市・呉市

供給高 0.86億円

(計画比90.6% 前年比104.4%)

福祉事業 12.6億円

(計画比98.4% 前年比103.2%)

eふれんず(インターネット注文)

供給高 27.6億円

(供給高に占める割合8.2%)

会員数 44,370名

夕食宅配(思いやりコープ弁当)

平均食数 3,056食/日

供給高 4.8億円

(計画比103.0% 前年比114.3%)

組合員数 399,926名

(計画比100.6% 前年比100.8%)

出資金 129.8億円

(計画比100.7% 前年比100.0%)

みんなで参加しました。

【産地・工場見学】

●20グループ
20産地・工場へ 392名参加

【保障の見直し活動】

●48カ所 1,340名参加

【くらしの保障アドバイザー認定者】

●初級1,195名
(職員:782名 組合員:413名)
●中級 599名
(職員:381名 組合員:218名)

【こーぷくらぶ】

●50グループ 244名

【商品モニター】 ●364名

【商品テスター】 ●13名

「声」を届けました。

【私もひとこと】

●3,459件 ※注文書での受付

【こーぷばれっとへのお便り】

●1,798件

【あなたの声いかします】

●426件 ※店舗で受付

【ホームページ】

●アクセス件数/411,333件
●メール/463件

「お互いさま」の輪

【くらしの助けあい】 (2016年4月～2017年3月)

●活動協力金/1,121,703円

●援助希望者/延べ820名

●総活動時間/7,244時間

●活動者/延べ763名

協同の心を届けました。

【募金等】

●平和募金 2,186,031円
●障がい者支援募金 3,049,000円
●ユニセフ募金 3,280,371円
●熊本地震緊急募金 30,617,767円
●台風10号などに関わる北海道・
岩手県被害への緊急募金 8,658,747円

●もずく基金 585,758円
●コアノンスマイルスクールプロジェクト 553,796円
●東日本大震災復興支援募金 3,202,587円
●うなぎ協力金 151,995円
●「環境キャンペーン」
「コープ洗剤環境寄付キャンペーン」 124,290円

【署名】 小規模作業所国会請願署名 10,199筆

新聞で紹介された (2016年度新聞記事) 生協ひろしまの取り組み

4月6日	胸にプレートつけ、生協米販売促進	日本農業新聞
4月12日	鶏卵の飼料 広島米配合(こめたまご)	日本経済新聞
4月21日	熊本地震 被災地支援	中国新聞
4月22日	配送手数料割引 子育て世代拡大	中国新聞
6月15日	2016年3月期決算	中国新聞
7月7日	広島県減災リーフレット生協ひろしまが配布	中国新聞
8月5日	ピースナイター	産経新聞
8月7日	ピースナイター	中国新聞、朝日新聞、毎日新聞
8月17日	移動店舗エリア拡大	中国新聞
9月8日	カープV商戦	中国新聞
1月25日	認知症ホーム初開設	中国新聞
2月24日	かんぎつ「津之輝」初売り	農業新聞
3月17日	親鶏の飼料に広島県産米	中国新聞
3月28日	「こめたまご」新開発	日本農業新聞

2016-2017 News topics



▲リニューアルオープン前、約200名の組合員さんが並びました

2016年7月
コープ安東リニューアルオープン
コープ安東は、約1カ月間の改装休業期間を経て、リニューアルオープンしました。売り場全体のレイアウト変更を行い、生鮮部門を強化。特に総菜部門の利用は増加しています。



▲開所前に行われた内覧会の様子

2017年2月
コープグループホーム・観音オープン
生協ひろしまで初めての居住系施設となる「コープグループホーム・観音」を2月に開所。3月末現在で15名の入所となっています。